



湖国の地震防災を考える 百年前の姉川地震が語るもの

明治42年（1909年）8月14日午後3時31分、姉川流域を中心とした地域にマグニチュード6.8の大地震「姉川地震」が発生し、湖北の各地に甚大な被害を及ぼしました。今年はこの姉川地震が発生してからちょうど100年目にあたります。このシンポジウムでは、震災に関する専門家の方々にお集まりいただき、地震発生のメカニズムや、これまでの地震災害の実相に迫ると同時に、姉川地震発生直後の被災地の様子を撮影した古写真をパネルにして展示し、当時の被災状況などについて紹介します。

姉川地震から100年がたち、人々の記憶からそのような災害があったことが忘れられようとしています。このシンポジウムをきっかけとして、かつて湖国を襲った災害について知り、先人の辛苦に思いを馳せると共に、持続可能な地域社会の基盤である「防災」への取り組みについて多様な分野からの提言を行いたいと考えています。

2009年
8/8 土

12:00開場 13:00~16:00

長浜文化芸術会館
大ホール

滋賀県長浜市大島町37番地

入場無料 予約不要

シンポジウム

タイムスケジュール

13:00~	開会あいさつ	
第1部		
13:10~13:40	「姉川地震の実像に迫る」	中村 正夫 (元東京大学地震研究所)
13:40~14:30	「地震を知って震災に備える」	尾池 和夫 (前京都大学総長)
第2部		
14:40~15:30	「琵琶湖の湖底遺跡と過去の地震」	林 博通 (滋賀県立大学人間文化学部教授)
15:30~15:50	「姉川流域の水文地形と地震の揺れ」	松波 孝治 (京都大学防災研究所 准教授)
総司会・コーディネーター 高田 豊文 (滋賀県立大学環境科学部准教授)		

事務局 公立大学法人 滋賀県立大学 環境科学部 高田研究室
滋賀県彦根市八坂町2500

お問い合わせ先 滋賀県土地家屋調査士会事務局 TEL077-525-0881
滋賀県大津市末広町7番5号 (司調会館)